

小学校英語指導の手引き

2020年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて英語指導の充実を図りましょう。

2020年度からの小学校の新学習指導要領の全面実施を控え、2018年度から2年間の移行期間に入りました。全面実施がスムーズに行えるよう、移行期間では、新学習指導要領の外国語活動及び外国語科に記載されていることについて十分に理解するとともに、そこに記された目標と内容を、新教材の活用により、必要な指導力を身に付けることが求められています。

新しい小学校外国語教育はこうなる!

移行期間(2018年度・2019年度)

第3・4学年 外国語活動

- ◆ 授業時数 年間 15 単位時間
- ◆ 高学年との接続の観点から必要最低限の内容を扱う。

第5・6学年 外国語活動

- ◆ 授業時数 年間 50 単位時間
- ◆ 外国語活動の内容に加えて必要最低限の外国語科の内容を扱う。

※いずれも文部科学省作成教材を使用。
※全面実施と同様の授業時数も可。

全面実施(2020年度以降)

第3・4学年 外国語活動

- ◆ 授業時数 週1コマ(年間 35 単位時間)
- ◆ コミュニケーション能力の**素地**を養う。
- ◆ 「聞くこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」を中心に慣れ親しむようにする。
- ◆ 文部科学省作成教材を使用。

第5・6学年 教科 外国語科

- ◆ 授業時数 週2コマ分(年間 70 単位時間)
- ◆ コミュニケーション能力の**基礎**を養う。
- ◆ 段階的に「読むこと」「書くこと」が加わる。
- ◆ 教科書を使用。

新しい小学校外国語活動・外国語科の目標

中学年の外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、

外国語による聞くこと、
話すことの言語活動を通して、
コミュニケーションを図る**素地**となる

高学年の外国語科

外国語による聞くこと、**読むこと**、
話すこと、**書くこと**の言語活動を通して、
コミュニケーションを図る**基礎**となる

資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声との違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ② 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ③ 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

- ① 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- ③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

新学習指導要領の趣旨を踏まえた英語指導の充実を図るため、本手引きでは、基本的かつ具体的な右記のポイントを紹介します。

1 基本事項を理解しよう

2 単元を構成しよう

3 1時間の授業をつくろう

4 新教材の活動に取り組もう

5 ゲームを活用しよう

6 Small Talk でやり取りをしよう

7 クラスルーム・イングリッシュを
どんどん使おう



1

基本事項を理解しよう

まずは音声で十分慣れ親しむようにしましょう。いきなり文字を示すことのないように！



■ 言語活動の考え方

外国語教育における、言語活動とは、「**実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う**」活動の意味する。

英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動は言語活動であるとは言い難い。例えば、発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動は、言語活動ではなく、練習である。練習は、言語活動を成立させるために重要であるが、**練習だけで終わることのないように留意する**必要がある。

「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」(文部科学省)より

中学年では

- 体験を通して理解を深めることが大切
- 外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみとして、児童が**興味・関心をもつ題材**のもと、児童が**やってみたいと思う活動**を設定

高学年では

- 「読むこと」「書くこと」については慣れ親しみであり、「聞くこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」に求める技能と同等ではない。
- 音声から文字への指導を行う。
- 文や文構造の解説を通してではなく、児童が聞いたり読んだり、話したり書いたりする**必然性のある活動**を設定する。

※学習指導要領には言語活動に関する事項に具体例が多く掲載されています。

■ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり

子どもたち一人一人の資質・能力の育成や、生涯にわたる学びにつながる意味のある学びとなるように、「主体的・対話的で深い学び」の視点から不断の授業改善をしていくことが求められています。

主体的な学びの視点から

- 単元の中で、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を明確に設定する。
- 学習の見通しを立てたり振り返ったりする場面を設け、自己の学びや変容を自覚させる。
- 発達の段階に応じて、児童が興味関心をもつことのできる題材を取り上げたり、身の回りのことから社会や世界との関わりを重視した題材を設定したりする。

対話的な学びの視点から

- 単元の中で、他者と情報や考えを伝え合う活動、他者を尊重しながら対話を図る活動を設定する。
- 他者の考えに触れて自らの考えを振り返ったり深めたりするように促す。

深い学びの視点から

- 見方・考え方を働かせて、単元を見通した課題に対して「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱が総合的に育成されているか留意しながら、単元を計画する。

● 音声を聞き取ることが難しい児童には

→リズムやイントネーションを、教員が手拍子を打つ →音の強弱を手を上下に動かして表す

● 文字数が多いと、細部に注意を向けたりすることが困難な児童には

→字体をそろえる →カードなどを黒板に貼る際に、位置や順番などに配慮する

等の配慮をしましょう。





- 単元の構成に当たっては、『**ゴールの明確化**』が大切。単元の終末での目指す児童の具体的な姿や児童に身に付けさせたい力をイメージすること。
- 単元のゴールから**バックワード・デザイン**、いわゆる「逆向き設計」を行って1時間ごとの目標を定め、各時間の学習活動を組み立てながら単元を構成すること。

単元構成簡単 ワン・ツー・スリー・ フォー

- ① 単元終末に設定されたゴールを確認し、そのために必要な新しい表現に出会う活動を行う
- ② 新しい語彙や表現に慣れる活動を行う
- ③ 表現(やり取り)により慣れる活動を行う
- ④ 友達と協力して課題を達成するコミュニケーション活動を行う

活動

例 4年生の単元 (Let's Try!2 Unit9)

例 5年生の単元 (We Can!1 Unit5)

夢の一日の絵本を作って読み聞かせをしよう!

地域のおすすめマップを作ろう!

①	●絵本『Good Morning』(文部科学省)の読み聞かせを聞いて、内容を理解する。教師が作った絵本を示し、自分たちが作る絵本のイメージをもつ。	●ALTの自国の紹介を聞く。
②	●絵本作りに必要な表現を知る。	●地域のおすすめの場所を You can ～. を使って紹介する表現について調べる。
③	●自分の絵本の読み聞かせに必要な表現をALTに尋ね、練習する。	●友達と写真の一部分を見せながら「What's this? クイズ」を出し合い地域のおすすめマップを完成させる。
④	●3年生に絵本の読み聞かせをする。	●地域のおすすめの場所をALTに紹介する。

『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』(文部科学省)より

授業設計はゴールから逆向きに!

小学校外国語活動単元計画(例)【第3学年】

単元のねらい

自分の好きな色などを相手に伝える活動を通して、相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする態度を育てる。

単元のめあて

自分の好きな色やスポーツ、食べ物などを友達に伝えよう。(4時間扱い)

1時	めあて 自分の虹をかこう。(慣れ親しみ) ●世界の子どもの描く虹の絵を見て違いに気付く。 ●先生の好きな色の話から、好きなものを表す表現を知る。 ●だれが何色を好きか聞いて線で結ぶ。 ●歌 Goodbye Song	振り返り
2時	めあて 先生の好きなものをあててみよう。(気付き) ●「カラータッチゲーム」 ●先生の好きなものと好きでないものについて知る。 ●「Who am I? クイズ」 ●「カード・デスティニー・ゲーム」 ●歌 Goodbye Song	振り返り
3時	めあて 友だちの好きなもの、きらいなものをあてよう。(慣れ親しみ) ●色やスポーツ、食べ物についての会話を聞いて好きなものを○で囲む。 ●映像資料を視聴し、好みを予想して好きかどうかを尋ねる。 ●「○×クイズ」 ●友達の好き嫌いを予想してインタビューする。	振り返り
4時	めあて 自分の好きなものを友だちに伝えよう。(コミュニケーション) ●チャンツ I like blue. (色・スポーツ・質問) ●好きなものを言つて自己紹介をする。 ●歌 Goodbye Song	振り返り

単元の振り返り

- ・多様な考え方があることや、外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付く。
- ・色の言い方や好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする語や表現に慣れ親しむ。
- ・自分の好みを相手に伝わるように工夫して伝え合う。

- 1 ゴールとそこに至るまでの毎時間の目標を決めます。
- 2 各目標に添って具体的な活動を選択し、時間配分や評価場面も考慮しながら配列を考えます。

※子どもが思わず聞いてみたい、自分の気持ちや思い、また自分も持っている情報を相手に伝えたいと思うような課題設定を行いましょう。

- 1コマ(45分)の基本的な流れは、(例) (挨拶→ウォームアップ) → (導入→復習→中心となる活動→振り返り) → (挨拶)
- 中心となる活動では、**聞く活動からまねる活動、自ら発話する活動へ**と段階的に組み立てる。

※テキストの他、デジタル教材、ワークシート、巻末のカード等を活用して進める。

※**コミュニケーションを行う目的・場面・状況**等を明確にした言語活動を設定して、児童にとって**必然性のある活動**を効果的に設計する。

※高学年において15分などの短時間学習を併用する場合、45分のまとまりのある学習との関連を明確にして行う。(15分でもねらいを明確にし、目的や場面を設定したものにする。)

Warming up

英語の時間の雰囲気作り、動機付け

●授業の始まりの挨拶

→教師対児童全員のやり取りに慣れてきたら、友達同士で挨拶できるように。相手の答えには、“Good!”や“Me too.”などの「あいづち」や「あいの手」を入れるように指導するとよい。

●歌やチャンツ等

→前時までに親しんだ表現や、単元の言語材料に関連するものなど。「聞こえてくる音声を、できるだけまねてみよう!」と声かけを。

●既習表現を使用したやり取り

→既習表現を使った簡単な質問を聞いて、答えたり、ペアでやり取りしたりする。

●めあての確認



Activity

めあてを達成させるための活動

- 新しい言語材料と出会い、すすんで聞いたり話したりしながら慣れ親しむ活動
- 慣れ親しんだ表現を「自分の言葉」として伝え合う活動
- 単元のゴールで行う活動を主体的に取り組むための伝え合う活動

英語のエラー(間違い)について

●児童が話す英語の間違いを、いちいち指摘したり訂正したりすることは、コミュニケーションの意欲をそぐことになりかねません。気になるときも、さりげなく正しい表現で言い返すなどにとどめておきましょう。

【例】児童：I like dog. 教師：Oh, you like dogs. Me, too!

●ALTが入る場合は、特に教師の発話や語彙の間違いを、さりげなく指摘してもらえよう依頼しておきましょう。

【例】教師：I like climbing mountains. ALT：Oh, you like hiking.

Looking back

振り返りによる学習の喜びや充実感の醸成

●振り返りカード等の活用による自己評価・相互評価

→例えば、「できた」「できなかった」ではなく、授業の中で心に残ったことや英語で伝え合っただけ気付いたことなどをまとめる。

→振り返りカードは1単元分を1カードにまとめて作成すると、児童が単元の見通しをもったり、本時の振り返りから次の時間に向けて、めあてをもったりすることができる。

●授業の終わり

→担任から児童の具体的な姿をほめる。

【例】「言葉の不思議がたくさん見付かったね。」「ALTの先生の好きなことを英語で聞けたね。」「先生も嬉しかったよ。びっくりしたよ。」など。





新教材に設定された活動の位置付けをしっかりと把握して取り組みましょう！

Let's Try!(中学年用)の各所にあります！

Let's Watch and Think

映像を見ながら英語でまとまりのある話を聞き、英語の意味を推測したり、話の概要を捉えたりする。また、聞き取った内容に関する質問に答える。

聞くこと、話すことの言語活動

Let's Chant

設定された表現について、英語のリズムやイントネーションに自然に慣れ親しむ。

聞くこと、話すことの言語活動

Let's Sing

設定された表現について、英語のリズムやイントネーションに自然に慣れ親しむ。

聞くこと、話すことの言語活動

Let's Listen

英語の音声を聞いて、必要な情報を聞き取ったり、概要を捉えたりする。

聞くこと、話すことの言語活動

Let's Play

英語の音声を繰り返し聞いたり言ったりして、慣れ親しむ。

聞くこと、話すことの言語活動

Activity

本単元で学習した表現などを使い、友達と自分の思いや考えを伝え合ってコミュニケーションを行う。

聞くこと、話すことの言語活動

We Can!(高学年用)の各所にあります！

Let's Play

英語の音声を繰り返し聞いたり言ったりして、段階的に使えるようにする。

聞くこと、話すことの言語活動

Let's Chant

設定された表現について、英語のリズムやイントネーションに自然に慣れ親しむ。ほかに、【Let's Sing】もある。

聞くこと、話すことの言語活動

Let's Listen

英語の音声を聞いて、その概要を捉えたり必要な情報を聞き取ったり、質問に答えたりする。

聞くこと、話すことの言語活動

Let's Watch and Think

映像を見ながら英語でまとまりのある話を聞き、英語の意味を推測したり、話の概要を捉えたりする。また、聞き取った内容に関する質問に答える。

聞くこと、話すことの言語活動

Let's Read and Watch

これまで聞いたり言ったりして音声で十分に慣れ親しんだ表現が書かれたものを読んで、その内容を捉える。

読むことに関する言語活動

Sounds and Letters

ページ下部に、活字体の小文字とその文字で始まったり、含んだりする語のイラストを掲載している(a~z)。それぞれ文字の音と、その音から始まる英語に慣れ親しむ。

日本語と英語の音声の違い

Activity

本単元で学習した表現や既習の表現などを使って、友達と自分の思いや考えを伝え合ってコミュニケーションする。

聞くこと、話すことの言語活動

STORY TIME

英語の自然な音声を繰り返し聞き、その意味を絵を手掛かりに推測したり、文字と結び付けたり、単語や文、語順などの認識を深めたりする。また、同じ韻を踏む単語を続けて聞くことで、文字と音声の関係に気付く。

文字や単語などの認識/読むことに慣れ親しむ

Let's Read and Write

語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現をワークシートに書き写したり、友達が書いた文を読んだりする。

読むこと、書くことの言語活動



文部科学省新教材説明資料より



I spyゲーム LT2Unit5 WC1Unit3	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師が紙面や身の回りの物について出すヒントを聞き、それが何かを答えるゲーム
クラブ・ゲーム LT1Unit3	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師がタンバリンやカスタネット等でリズムをとりながら、児童に How many (times)? と尋ねさせ、教師は (Clap/Stomp) five times! などと数を答える。児童がその分だけペアどうしで数えながら手を叩いたり、足踏みをしたりするゲーム
ポインティング・ゲーム LT1Unit6,7 LT2Unit4,6,8 WC1Unit1,2,4,5,6,7,8 WC2Unit1,2,3,4,5,7,8	<ol style="list-style-type: none"> ① テキストや絵カードやカルタなどを机の上に用意させる。 ② 児童は教師が発音した単語やアルファベットを聞き、その文字や単語を指さす。 ③ 慣れてきたらペアになり、テキストやカード類を2人の間に置く。教師が発音した単語を指さし、速さを競う。
シャッフル・ゲーム LT1Unit4,8	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒板に貼って児童と発音しながら確認したカード等を、今度は裏返しにして2, 3ヶ所入れ替えたりしながら、1枚ずつ指して児童に尋ね、答えさせるゲーム
バズ・ゲーム WC1Unit2,4,8	<ul style="list-style-type: none"> ● 制限時間内で、Start Number から始め Buzz Number まで、数を数えながら何度かグループで繰り返すゲーム
カード・デスティニー・ゲーム LT1Unit4 LT2Unit5 WC1Unit5,8,9 WC2Unit5	<ul style="list-style-type: none"> ● ペアで「動作」「食べ物」「感想」等の絵カードを分けて持ち、机の上に並べ、教師が言ったものに関する絵カードを持っている児童が、I like/I don't like ~ . と自分の気持ちを言いながらカードを置いていくゲーム ● 応用した「デスティニー・ゲーム」も
フェイント・リピート・ゲーム WC2Unit5	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵カードを教師の後ろについて発音し、教師が指したものと違う単語を言っても、指されたカードを児童が発音するゲーム
マッチング・ゲーム LT1Unit7 LT2Unit6 WC1Unit6 WC2Unit2,5	<ul style="list-style-type: none"> ● 5～6人のグループで行う。グループ全員で1人の児童に What do you want? と尋ね、その児童は欲しいカードを～, please. と隣の人に告げる。持っていたら OK! Here you are. Thank you. You're welcome. とやり取りをする。持っていない場合は、Sorry. と言い、他のカードを渡す。同じカードが2枚揃ったら捨てていき、全てのカードがなくなればあがりとなるゲーム ※大文字と小文字を対応させるゲームとして Do you have ~? でも活用できるし、マッチさせる色々な方法が指導書に掲載されている。
おはじきゲーム LT1Unit3,5 LT2Unit6,7	<ol style="list-style-type: none"> ① 絵や単語の上におはじきを置かせる。 ② 児童は教師が発音した単語を聞き取って、上に置いてあるおはじきを取って集めていく。
キーワード・ゲーム (キーンナンバー・ゲーム) (キーフレーズ・ゲーム) WC1Unit5,6 WC2Unit2,3,9	<ol style="list-style-type: none"> ① 2人1組のペアになり消しゴムを1個用意させる。 ② 複数枚の単語(ナンバー、フレーズ)の中から1つキーワードを決める。 ③ 児童に両手を頭の上に置くように指示し、教師が発音した単語(ナンバー、フレーズ)をリピートさせていく。 ④ キーワード(キーンナンバー、キーフレーズ)を発音した時だけ、児童はリピートせず、2人の間に置いた消しゴムを取る。
ミッシング・ゲーム LT1Unit3,5,7 LT2Unit3 WC1Unit1,3,7 WC2Unit3	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒板に絵カードや文字を掲示し、児童と言い方を確認する。全てのカード(文字)を外し、その中からカード(文字)を1枚除く。取り除いたカード(文字)以外を再度黒板に示しながら、その言い方を児童と一緒に繰り返して言う。最後に黒板にないカード(文字)を言わせるゲーム
ステレオ・ゲーム LT1Unit3,8	<ul style="list-style-type: none"> ● sport, fruit, food, color などのカテゴリーから1つを決め、代表児童3～4名がそれぞれ好きなものをカードから選び、他の児童に見えないように隠して持ち、教室の前に出て1列に並ぶ。他の児童全員で尋ねた質問に代表児童が同時に答える。代表児童の誰が何と言ったかを当てるゲーム
ラッキー・カード・ゲーム WC1Unit1	<ul style="list-style-type: none"> ● グループで円になり、各自がカードを自分の前に並べ、順番に隣の児童に欲しいカードを尋ねて渡す。時間になったら教師があらかじめ決めていたラッキーカードを発表し、そのカードを持っている児童が勝ちとなるゲーム
ゴーフッシュ・ゲーム WC1Unit3	<ul style="list-style-type: none"> ● グループをつくり、1人5枚のカードを持ち、残りは中央に重ねる。次の人がほしいカードを持っていれば渡し、なければ Go fish. と行って中央の残りのカードから取らせる。ペアのカードができれば前に出すことができ早くカードが無くなることを競うゲーム

Small Talk とは……

- 高学年新教材で設定されている活動。2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりする。児童が興味・関心のある身近な話題について、自分自身の考えや気持ちを楽しみながら伝え合う中で、既習表現を繰り返し使用する機会を保障し、その定着を図る。
- また、5年生は指導者の話を聞くことを中心に、6年生はペアで伝え合うことを中心に行う。

Small Talk を行う主な目的

- ① 既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図る。
- ② 対話の続け方を指導する。

対話を続けるための基本的な表現

対話の開始	対話の始めの挨拶 Hello. / How are you? / I'm good. How are you? など
繰り返し	相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめること 相手：I went to Tokyo. 自分：(You went to) Tokyo. など
一言感想	相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝えること That's good. / That's nice. / Really? / That sounds good. など
確かめ	相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発話を促すこと Pardon? / Once more, please. など
さらに質問	相手の話した内容についてより詳しく知るために、内容に関わる質問をすること 相手：I like fruits. 自分：What fruits do you like? など
対話の終了	対話の終わりの挨拶 Nice talking to you. / You, too. など

例えばこんな話しかけから Small Talk を(6年生の場合)

UNIT 1 This is me.

S:What sport do you like?

UNIT 2 Welcome to Japan.

S:What country do you want to go to?

UNIT 3 He is famous. She is great.

T:I live in America. I'm very popular in America and Japan. I like curry and rice. I'm good at running. I play baseball in America. Who am I?

UNIT 4 I like my town.

S:My favorite place is the library.

UNIT 5 My Summer Vacation

S:What food do you like in summer?

UNIT 6 What sport do you want to watch?

S:What sport do you want to watch?

UNIT 7 My Best Memory

S:I enjoyed eating osechi during winter vacation.

UNIT 8 What do you want to be?

S:Where do you want to go?

UNIT 9 Junior High School Life

S:What club do you want to join?

※ 児童が1回目の対話を行った後、伝えたくても伝えられなかった表現の確認を行い、もどかしさを解消しましょう。

『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』(文部科学省)より

7

クラスルーム・イングリッシュをどんどん使おう

※クリアファイルに入れて教卓に置いて使ってみては？

めあて：**Lesson Goal** Today's Goal 振り返り：**Reflection** Looking back

英語の時間です。	It's time for English class.	やりたい人はいますか。	Any volunteers?
今日は何曜日ですか。 —金曜日です。	What day is it today? —It's Friday.	よく聞いて、点と点を線で 結びなさい。	Listen carefully and connect the dots.
今日は何月何日ですか。 —4月25日です。	What's the date today? —It's April twenty-fifth.	私と一緒に「A」を書きなさい。	Write the letter 'A' with me.
今日の天気はどうかですか。 —晴れています。	How is the weather today? —It's sunny.	書きたい表現を選んで ていねいに書きなさい。	Choose the phrase you want to copy and write it carefully.
席に戻りなさい。	Go back to your seat.	4線の上に書きなさい。	Write on the 4 lines.
準備はいいですか。	Are you ready?	5班の勝ちです。	Team Five are the winners.
始めましょう。	Let's begin.	一緒に数えましょう。	Let's count together.
今日の目標です。	This is today's goal.	終わりです。	Time's up.
目標と一緒に読みましょ う。	Let's read the goal together.	これでお話は終わりです。	This is the end of the story.
これが今日の授業内容で す。	This is today's [lesson / class schedule / plan].	ワークシートに名前を 書きなさい。	Write your name on the worksheet.
ゲームをしましょう。	Let's play a game.	私のまねをしてください。	Copy me.
チャンツを 練習しましょう。	Let's practice a chant.	はい、どうぞ。	Here you are.
歌を歌いましょう。	Let's sing a song.	グループで話し合いなさい。	Talk in your group.
手を叩きましょう。	Let's clap our hands.	今日の授業は 楽しかったですか。	Did you enjoy today's class?
机を寄せなさい。	Put your desks together.	今日はこれで終わります。	That's all for today.
机を後ろに下げなさい。	Move your desks to the back.	また [来週 / 次回] 会いましょう。	See you [next week / next time].
すべて片付けなさい。	Put everything away.	良い週末を。	Have a nice weekend.
消しゴムを2人の間に 置きなさい。	Put one eraser between you and your partner.	今日の授業の振り返りをし ましょう。	Let's review today's class.
[テキスト / ワークシート / ファイル] を取り出しな さい。	Take out your [textbook / worksheet / file].	振り返りカードを 取り出してください。	Take out you [reflection sheet / furikaeri card].
テキストを片付けなさい。	Put away your textbook.	よくできました！	Good!/Great!/Well done!
前に来なさい。	Come to the front.	がんばりましたね！	You did a good job.
真ん中に来なさい。	Come to the center.	おめでとう！	Congratulations!
(もう少し) 後ろに 下がりなさい。	[Step / Move] back (a little).	素晴らしい！ / いいね！	Wonderful!/Excellent/ Fantastic!/Perfect!/Super!
並びなさい。	Line up.	心配しないで。	Don't worry.
4チームに分かれなさい。	Make four teams.	がんばって！	Good luck!/Do your best.
あなたは A グループです。	You are in Group A.	その調子！	Keep it up!
ペアになりなさい。	Make pairs.	君ならできるよ。	You can do it.
円になりなさい。	Make a circle.	落ち着いて。	Take it easy. / Relax.

『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』（文部科学省）より抜粋

…… このパンフレットについてのお問い合わせ先 ……

大分県教育庁義務教育課

〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号 TEL: 097-506-5534 FAX: 097-506-1795

HPアドレス <http://www.pref.oita.jp/soshiki/31810/>